

組織風土づくりの考え方・進め方 **NEW** 社員の能力を引き出し、 イキイキと働ける職場をつくるために

旭川校

組織マネジメント

研修のねらい

企業の「持続的な成長」のためには、環境の変化に適応し、自社を変革し続けることが求められます。

ウィズコロナ、働き方改革、リモートワーク、人手不足、多様な人材活用を目指すダイバーシティ経営など、大きな環境変化のうねりの中、自社が生き抜いていくためには社員一人ひとりが自律的な改善、創造的な提案を積極的に行うイキイキとした組織づくりが不可欠です。

本研修では、働きやすい職場環境を整え、メンバーの能力を最大限に引き出す組織風土をつくるために、どのように組織を変革していくのか事例を交えて学びます。

研修のポイント

- 企業文化・価値観の共有を行える組織とはどのような組織かを学びます。**
- 自律的かつ協働・協調する社員を育てるポイントを学びます。**
- 職場での実践を念頭にした「組織風土の変革」に向けたシナリオを作成します。**

研修期間

2021年 **12/20** 日～**22** 日
(3日間 21時間)

対象者

経営幹部、管理者

- 経営後継者の方
- 職場の雰囲気課題を感じる方
- 組織改革を進める任務に就かれている方

定員 20名

受講料 32,000円(税込)

会場

中小企業大学校 旭川校

旭川市緑が丘東3条2丁目2番1号

月日	時間	科目	内容
12/20 日	10:20～10:30	開講式・オリエンテーション	
	10:30～12:30	組織風土とは	社員がイキイキと働き、持続可能な組織へと変革するために必要な組織風土づくりの基本的な考え方を理解し、自社の現状確認と今後の方向性について考えます。 ◆自社を取り巻く環境変化と、適応する組織づくり ◆なぜイキイキした組織風土が求められるのか ◆自社研究① 組織風土の現状と課題(自社演習)
	13:30～15:00		
	15:00～18:30	企業ミッション・ビジョンの共有と浸透	組織風土を構築する際に不可欠となる「組織としてのビジョンや方向性(ベクトル)」について、全社的に共有、浸透させるためのポイントを事例を交えて学びます。 ◆持続可能な経営と組織風土の関係 ◆経営の未来、これからの方向性を考える ◆自社研究② 自社のビジョン共有の現状と課題
18:45～20:15	交流会	受講者同士の懇親を深めます。	
12/21 火	9:00～12:00	信頼関係を高めるコミュニケーション	組織を活性化させ、信頼関係を高めるために効果的なコミュニケーションについて学びます。また、演習を交えて、組織風土を見直す取り組みの理解を深めます。 ◆組織を活性化させるコミュニケーション ◆自社研究③ 自社のコミュニケーションの現状と課題
	13:00～15:00		
	15:00～18:00	自律型人材を育てる仕掛けづくり	組織の中核を担う協働意欲の高い人材を育てるポイントを学びます。また、組織の意思決定プロセスの構造とチームワークを発揮する組織づくりのポイントを演習を交えて学びます。 ◆自律型人材を生み出す仕事の任せ方 ◆自社研究④ 自社の人材育成の現状と課題
12/22 水	9:00～12:00		
	13:00～16:00	自社の変革シナリオの作成(演習)	自社の組織風土の変革に向けた課題を整理し、自社の組織を変革させるための実行計画書の作成に取り組みます。 ◆自社の組織風土の変革に向けた課題整理 ◆自社研究⑤ 自社の変革シナリオ:チャレンジ宣言
	16:00～16:20	終講式	

※新型コロナウイルス感染症対策を講じて研修を実施しております。研修内容・日程等は変更になる可能性がありますので予めご了承ください。

講師紹介 (敬称略)



株式会社エム・イー・エル
取締役
佐藤 康二 (さとう こうじ)

福岡大学商学部商学科卒業後、民間企業勤務を経て起業。その経験を活かして1995年に(株)エム・イー・エルに入社し、コンサルタントに転身。現在、同社取締役として企業の業績向上コンサルティングや組織活性化・人材開発の支援を行う。「なぜ人は本気で働かないのか」等の著作を含め、組織開発を通じた業績向上、売上アップをテーマに顧客接点の水準を高める価値づくりと、社員がイキイキ働ける職場づくりに注力。理念を重視したビジョン型経営を中小企業に導入し、目標設定と計画立案、その実行と進捗管理までを支援して多くの顧問先で業績向上を実現している。中小企業大学校をはじめ公的機関での研修講師としても豊富な実績を有する。



中小企業大学校 旭川校 研修担当 行

※事務処理欄

Blank box for administrative processing.

2021年度 No.45 組織風土づくりの考え方・進め方

20 年 月 日

Application form for the applicant company, including fields for address, company name, representative name, and contact information.



申込者と受講者の所属する企業が異なる場合は、下欄へ受講者の企業についてご記入ください。

Form for the recipient company details, including company name, address, and contact information.

記入上の注意 ●大学施設(北心寮)へは、研修期間の前日から最終日の翌日までお泊りいただけます。※3,000円/泊(税込、朝食サービス)満室の際はご容赦ください。 ●ご宿泊の方は、必ず喫煙の有無をご記入ください。(全室禁煙ですが、喫煙所のある階にお部屋をご用意いたします) ●宿泊期間が複数回ある研修については、初回分の宿泊予定のみご記入ください。2回目以降は来校時に確認させていただきます。

Form for recipient information, including name, age, gender, role, and accommodation details.

Form for company overview, including business type, main products, capital, and enrollment details.

申込書を受理後、必要書類一式(受講料振込用紙など)を郵送いたします。開講の1ヶ月以上前にお申込みいただいた方には、開講の約1ヶ月前に郵送いたします。 受講のキャンセルについては、お電話にてお申し出ください。 キャンセルのお申し出日が土・日・祝祭日にあたる場合は、メール(asahi-kenshu@smrj.go.jpあて)またはFAX 0166-65-2190でご連絡ください。 受講申込における個人情報の保護について 中小企業大学校旭川校では「個人情報保護法」に定されている個人情報に該当する情報につきましては、適切な管理に努めてまいります。受講申込書に記載されている内容をもとに、お客様に有益と思われる研修等のご案内を郵便、電子メール、FAX等でお送りさせていただくことがあります。また、受講者・企業同士の円滑なコミュニケーションを図るため、座席表へお名前及び勤務先企業名を掲載させていただきます。掲載を希望されない方や、個人情報につきましてご不明な点等ございましたら旭川校までお寄せくださいますようお願いいたします。